

# まち、まるごとISO。

役所も家もお店も学校も旅館も、  
オリジナルのISOで温暖化対策。



学校のごみ・資源置き場。スラリと回収容器が並び、容器包装などがどこに分類されるかの説明が表示されている。



熊本県内では初、全国では6番目にISO14001の認証を取得した水俣市は、82項目に及ぶ活動プログラムを構築・実施しました。その結果、地域イメージの向上、環境モデル都市づくりに向けた市民の啓発、職員の環境意識の高まり、省エネルギーの推進とこれに伴う経費節減、地球温暖化防止といったさまざまな効果が現れました。家庭版ISOを始め、市オリジナルのお店版、学校版、幼稚園版、旅館版といった独自のISOを次々に創設し、地域全体で実践活動を展開しています。



リサイクルの取り組みを機に、市民の環境意識が大きく向上。子どもへの環境教育も積極的に行われている。



## 講評

水俣市は、水俣病という公害病を乗り越え、地域全体で環境都市として世界にアピールしていること、ISOというしくみを活用。学校、事業所、家庭、市役所など、まさに「地域丸ごと」の取り組みで環境管理を行っています。この仕組みを使って、CO<sub>2</sub>排出量も全体的に下げていくという取り組みが素晴らしいと考えます。

## 受賞者コメント

水俣市福祉環境部環境対策課 設楽 聡  
未来を担う子どもたちの自信につながりました



水俣市におけるISO14001とは、地域住民が各々に活動するなかで、環境負荷の低減に取り組むためのいわば「合言葉」です。世界に類を見ない公害体験を持つことから、環境に対する市民の意識は総じて高く、公害都市

からの脱皮に止まらない、環境を切り口とする創造的まちづくりを進めています。今回の発表・受賞を通して、将来の水俣市、そして地球を担う子どもたちが自信を持ってくれたことが何よりの収穫となりました。

団体名:水俣市  
所在地:熊本県水俣市  
ウェブサイト:<http://www.minamatacity.jp/>

都道府県大会の名称 **私もやるばい「減らすこつCO<sub>2</sub>コンテスト」**